

聴覚は 一生のパートナー

～より良い「聞こえ」で健康的な人生を～



こんなこと
ありませんか？

会話をしているとき、聞き返す
ことがよくある。



相手の話した内容を聞き取れ
ず、推測で内容を判断するこ
とがある。



ドアのチャイム音や体温計の
音に気がつかないことがある。



家族に「テレビやラジオの音量
が大きい」と注意される。



大勢の人がいる場所や周りか
うるさい中での会話は、「聞こ
えているけどその内容がわか
らない。」と感じる。



難聴ってなあに？

難聴とは、いろいろな原因により、正常の聞こえの人に比べて『音や言葉が聞き取りにくい』という症状のことを言います。

高齢者の2人に1人が難聴であるとも言われています。

難聴には、耳掃除や薬物治療、手術等で治る場合もあれば、加齢性難聴など、補聴器で聞こえを補うことで、生活の質を改善できる場合もあります。聞こえが悪く感じたら、まずは医療機関で診断してもらいましょう。

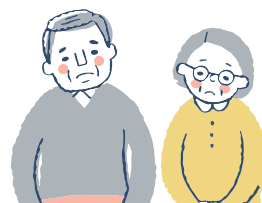


まずは医療機関での診察を！

加齢性難聴の聞こえ方

加齢性難聴は「小さな音が聞こえにくく」、
「言葉がはっきり聞き取りづらく」なります

いるんだけど…



聞こえては

高い周波数から聞こえにくくなるのが特徴です。そのため、まず、
ドアのチャイム音や体温計の音が聞こえにくくなります。

また、言葉では、母音よりも子音が聞き取りづらくなり、カ行、サ行、
タ行、ハ行等の聞き間違いが増えてしまいます。

その結果、「しゃべっているのはわかるけど、何と言っているのかわからない。」となり、必要以上
にテレビの音量を大きくしたくなります。

さらに難聴が進行すると、大きな声でも会話が聞き取れない、音源がどこにあるかわからな
い、といった症状も生じることがあります。

難聴が引き起こすかもしれないリスク

高齢者の難聴は、聞こえにくさから会話、コミュニ
ケーションが困難となり、さらに社会とのつながりが希
薄となることが認知症や社会的孤立の要因となるとい
われています。

難聴を早期に発見し、支援を行うことで、聞こえにく
さから起こるかもしれない症状を予防し、より良い
「聞こえ」で健康的な人生を楽しみましょう。



聴覚は一生のパートナーです

「年だから仕方がない」と思わず、健康的な人生を楽しむため、
自分の「聞こえ」に関心を持ってみませんか。

静岡市では、令和6年度から、高齢者の「聞こえ」の
チェックと、その参加者への補聴器購入費用の助成を
実施します。

詳しくは、静岡市ホームページをご覧ください。



静岡市 難聴

検索

静岡市保健福祉長寿局健康福祉部 高齢者福祉課
電話 054-221-1586 E-mail:koureifukushi@city.shizuoka.lg.jp

本書の無断複写・複製・転載を禁じます。 令和6年8月 作成